

(2) 予測方法

① 予測対象種の選定

予測対象種は、表-6.9.2(2)に示す重要な動物種に該当するもののうち、調査で確認した80種(表-6.9.2(3))としたが、6種(ヤエヤマコキクガシラコウモリ、カグラコウモリ、リュウキュウユピナガコウモリ、オオハナサキガエル、コガタハナサキガエル、カンムリワシ)については生態系の項目において、3種(ヤエヤマサワガニ、ミヤザキサワガニ、ヤエヤマヤマガニ)については河川水生生物の項目において予測対象種とすることから、80種のうち71種を予測対象種とした。

表-6.9.2(2) 重要な動物種の選定基準

- ア) 「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物」(2000～2002年 環境庁)及び「無脊椎動物(昆虫、クモ類、貝類、甲殻類)のレッドリストの見直しについて」(2000年環境庁)での選定種
- イ) 「沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物-レッドデータおきなわ-」(1996年 沖縄県)での選定種
- ウ) 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)における指定種
- エ) 特別天然記念物、国指定天然記念物、沖縄県指定天然記念物に指定されている種